

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設(1-32)、MOX施設(1-32))」

2. 日時：令和3年6月2日（水） 14時00分～16時30分

3. 場所：原子力規制庁 9階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

（原子力規制部新基準適合性審査チーム）

古作企画調査官、津金主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査専門職、森野安全審査専門職

日本原燃（株） 村野 理事 再処理事業部副事業部長 他20名

東京電力ホールディングス（株） サイクル技術グループ
グループマネージャー

関西電力（株） 原子力事業本部 原子燃料部門
原燃計画グループリーダー 他1名

中部電力（株） 原子燃料サイクル部 サイクル戦略グループ 課長

中国電力（株） 電源事業本部 原子燃料管理グループ マネージャー

日本原子力発電（株） 発電管理室 炉心・燃料サイクルグループ 主任

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載していません。

発言者による確認はしていません。

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和 2 年 1 2 月 2 4 日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000124.html
- ・ 令和 3 年 5 月 1 8 日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和 3 年 5 月 2 5 日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設、濃縮施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和 3 年 6 月 1 日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設、濃縮施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	それではただいまから日本原燃株式会社とのヒアリングを開始いたします。
0:00:07	本日のヒアリングは例は2年12月24日に申請があった設工認申請につきまして、
0:00:14	5月18日、25日、6月1日に提出があった補足説明資料基本ロジックをもとに、事実確認を行う資料でございます。
0:00:26	それではですね、日本原燃の方から今回の説明する資料及び説明範囲ですね、これについて説明のほうをお願いいたします。
0:00:41	日本原燃の渚野です。本日の説明内容ですけれども、この耐震綺麗の17番でということでこの設備の固有周期させについて、こちらを入れた指針として一つ説明いたします。耐震建物関係は、平成15番10番15番、16番、17番。
0:00:58	18番と7番の資料ですね、これらについて本日説明を予定しております。説明といたしましては綺麗な耐震のほうから行いまして、建物の耐震のほうに説明、ナガセいただきたいと考えていますやらないかん。
0:01:17	よろしいですか。はい、ありがとうございます。本日の出席者ですが。はい、再処理事業部の方からムラノナガサワ
0:01:26	七つタカハシフジノ
0:01:30	それから、再処理の機器耐震関係でサガワ、菊地ヨシダフナバ
0:01:36	ハラダメキ
0:01:39	タナカ石橋サトウ
0:01:42	土建関係でサトウトガシ
0:01:46	ウラバヤシaフジワラ菅原イノウエの上ホシノ。
0:01:52	スギタとフナコシとなっております。それからMOXといたしましてタカマツaタニグチ以东以上が出席したとなっております。
0:02:03	それでは説明ですけれども起電関係の資料の説明から入りたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。
0:02:12	荷揚日本原燃サービスで今の出席者のところで記念関係少し訂正があります。
0:02:19	出席者ですけれども私サガワとスケカワヨシダになります。
0:02:27	中身に入る前に、ちょっと待ってください。
0:02:43	すいません4年サガワです。
0:02:46	中身のほう入らせていただいてもよろしいんですが、録音の準備ということがもう抜け始めておりますので、はい。あと規制庁がある資料を確認しているんですけれども、補足で説明する内容がありましたらお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:00	はい、日本原燃サガワです。はい、耐震起電 17 号の設備の固有周期の算出についてっていうところで、中身のコサクというよりは、この資料につきましては弱のところどころでどうな設備というところについてはこういう周期を算定してないものがありますというところできちんとして、一部の
0:03:19	計算を計算書を作成してますというところで、この辺りについて説明させていただきます。この資料の構成としましては、まず前回もお話したんですけれども、全体の方針につきましては私のほうで確認してございます。中身の設備のほうの中身の巨評価の内容というところにつきましては、施設課の方で、
0:03:39	等作成してるというところになります。よろしくお願ひします。
0:03:46	A系とタケダです。はい、ありがとうございます。それではですね、この資料の中から規制庁より、事実確認を進めていきます。規制庁側から事実確認コメント等ありましたらお願ひいたします。
0:04:02	規制庁の上出です。
0:04:04	まずちょっと確認なんですけど、この資料で言ってるのか、冷却塔のファンとあと横軸ポンプっていうのが 5 時間ありますよということなんですけど。
0:04:18	横軸ポンプというのは、て一形式で評価するものであって、類型化の一つになっているものでかつ弱の式だということ周期
0:04:33	は 5 校とみなせるから省略すると言っているものだと思います。一方で、冷却塔のほうはですね、全体としては固有周期を出して行って、そこに乗っかっているファンはですっていう説明になっているようなんですけど、この辺り、
0:04:53	位置付けというか設備の位置付けが違うと思うんですけど、何か同じように、ごっちゃにして説明されているような気がして、ちょっとその点どういう整理をされたのか説明いただけますか。
0:05:10	日本原燃岩下でございます。今回の整理につきまして、
0:05:15	また見えさんからコメントありました通り、冷却塔というものは、支持架構に対して解析を行って、こういう周期を出しているもの。
0:05:26	と、あとそれと提携式に基づいて評価を行っているという設備が組み合わさってできているものとなっております。
0:05:36	そのため提携式によって評価を行っている今回のリジェクトファン
0:05:41	御苦勞時期に関しては、
0:05:43	ここでポンと同様の形状とあるという判断をした上で、コサクポンプと同様の計算式を行っております。ただ疾病冷却塔として耐震計算書を出す場合に、このさせ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:58	これこれらを一つの冷却低耐震計算書として提出しておりますので、そういった横軸ポンプとは違う位置付けとして冷却塔の中に対しても含めて提出しているということになっております。以上となります。
0:06:13	すいません、日本原燃変わる総則しますか皆さんの御指摘に対しましては時アークと類型化の関係がどうなってるってところだということだということで理解してございますと、まず最初にジャーとの関係ってところで定型資料を用いて評価をやるものということだということでこのままで議論してました類型化の中で、また、
0:06:32	民間のときに 47 別添そこに対して今回プラスアルファで 56 というような話をしまして、そこにポンプっていうものが存在します。そこにつきましては先ほどご指摘ありました通り弱と登用 2 棟固有周期の算出式を乗せてなくてそこはバーということだ、5 ということだ載せてます。
0:06:51	そこについては先行炉と同じように、今回の補足説明資料ということだ準備するということだ、別紙 2、別紙 3 という形でまとめてますってところになりますんで、もう一つ、今の御指摘の中にありました。今回の冷却塔のファンってどういう関係なんだってところについて整備しますと、
0:07:10	今のところにつきましては、本当類型化で言うところの今回改めて類型化した FEM の一番の冷却塔ってところになってきますんでそこに対しましてで冷却と自体は先ほどヨシダちょっと申しました通り、本当解析によって評価をしますと、そこに乗っかってきているこのファンってところについては、
0:07:29	計算で計算してますよということになってございましてボルトの計算に対してです。そうなったときに、そのボルトの計算をするにあたって、認可時に、本当ファンの構造と横形ポンプの構造の関係から、これは同様だよってところで、既認可時に PAR で出してたってところになってございまして、
0:07:49	っていかねそれに対しまして今回、バーになってるって皇后だっていうイメージしているところにつきましては同じように説明する必要があるということだ今回この申請、この補足説明資料を準備したってのが事実関係なってございまして、さらにちょっと少し補足しますと、
0:08:06	今の御指摘踏まえますと、よくよく考えますと、認可時はそこまで出してたんですけど、今回本当冷却塔の申請で類型化していくのであれば、この式自体を計算者に載せれるって考え方もありかということだ今考えてるってのが、
0:08:22	はい。等になります。以上になります。
0:08:27	はい。規制庁カミデです。
0:08:30	そうすると冷却塔に乗っかっているファンなり、それ以外の設備も乗っかっていると思いますけど、それはそれで耐震計算を行って計算書に添付している。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:45	その中でこのファンについては、こういう周期は省略しているから、
0:08:54	この資料があると計算書において、こういう値を省略しているという点については、横軸ポンプと同じだから、この資料に今書いているという形ですか。
0:09:10	お土産年額サガワです。ご指摘の通りとなっております。
0:09:15	規制庁カミデです。わかりました。先ほど言われたように
0:09:21	手計算ベースで、
0:09:26	の計算をまた計算書に書くかどうかというのはあると思いますけども、ちょっとそういった、
0:09:34	計算書との関係っていうんですかね、そういう背景をちょっとこの資料で示すようにしてください。
0:09:45	はい、日本原電サービス了解いたしました。
0:09:49	あと、規制庁カミデですと聞いてて点検もんだったんですけど、横形ポンプとほぼ同じ。
0:09:58	横軸ポンプとほぼほぼ同じですということであれば、ファンの計算は
0:10:05	そのJ枠に倣ってできるんじゃないかという気もするんですけど、そこはどういうふうな違いがあるんですかね。
0:10:15	日本原燃サービスと、もう少し丁寧に話をします。JR上ですね、本当横軸ポンプってところの提携式ってというのは、記載されておりませんというところになってましてそこについてはちょっと言い方悪いんですけど、時名ということで載ってないんだとは考えてございます。
0:10:33	それに対しまして先行とさんのほうで、横軸ポンプってところと、横軸ポンプと取り上げてってところを模擬して計算をしてきた結果を出していると、それに対しまして、今回、当社におきましても同じように、補足の中で横軸もこうやっていくってところになるっていうのが横軸ポンプの実態になってます。
0:10:53	それに対しまして、今回の冷却とってところの計算式をどういうふうに出したんだってところなんですけど、さっき申しました通り、一つの剛体としてみなしているものとする設備ですよね。設備と取り合え点ってところの設定バネの設定ってことになるんですけども、そこをしてあげた上で、
0:11:12	本当はこういう周期を出すということになりますので、そうなった場合に、今回の冷却塔ってところにつきましては取り合え点として、ちょっと幾つかありますので、そこを系っていう形で載せてるんですけども、そこにつきましては、今回の申請している冷却塔ってところを模擬してればねを設定しているので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:32	道路横時刻とは若干ひび割れじゃ言いますと、ただ式の構成の考え方は一緒になるっていうのが正しい言い方かなっていうところでもあります。以上です。
0:11:42	規制庁カミデです。横軸ポンプ場弱には式が載っていないということだったんですけど3ページの3ポツ1だとJR4601の計算式をもとにしているというような記載があつて、ちょっとだんだん混乱してきたんですけど。
0:12:01	ちょっとその辺り丁寧に記載をするようにお願いします。
0:12:08	日本原燃の写真、先ほどそうですね、コミュニティのスケカワのてないということでお話しさせて待たさ応力の計算式というのは若干動きますのでそこら辺は、他ユニット対応いたします。
0:12:20	すいません日本原電サービス等で形式事態そのものはそうじゃぐ通りでそこにこういう周期算出式っていうのが載ってないということなので今カミデさんからご指摘ありました通りそこがしっかりわかるような記載に修正します。以上です。
0:12:36	規制庁カミデです。そう相談すると私が言ったのこういう周期算出式ではなくて、応力評価式なんですけど、横軸ポンプとファンが同じようなものだとすれば、こういう周期が同じようなものだから省略しますと同じ対応にしますと、
0:12:54	応力評価式が違うんですというところがちょっと疑問だったので聞いていますので、ちょっと簡単に説明いただけますか。
0:13:05	日本原燃載せてございます。
0:13:07	そや異常の話に記載いたしまして、横軸ポンプブロワというものに対しての応力計算して乗っており、こういう値の算出式が載っていないということになっております。
0:13:18	これについて、今回ファンと言っているものなんですけど、横軸ポンプと同様の構造でありますので、この弱に乗かって容量計算式を耐専決算書の方に記載した上で評価を行っているというのが実態となっております。
0:13:35	それから、
0:13:36	規制庁カミデです。
0:13:39	最初のほう、サガワさんの方だと横軸ポンプとブローアウトっていうのは少し違う計算式だというような説明に聞こえたんですけどそれは同じだということ、で、応力算出式は、横軸ポンプと、
0:13:54	パーン両方同じ契約に基づいてやってるっていうことですかね。
0:14:02	この言明されてございます。高見さんから御指摘いただいた通りに基づく式としてはどちらも同じものでその評価部位ですねちょっと取付ボルト、基礎ボルトといった違いがありますので、それによって少し考え方が違っているというだけでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:17	じゃ、
0:14:18	はい、わかりましたと。
0:14:21	あとですね、4 ページの 4 ポツのところ、資料上はマスキングになってるんですけど、ちょっとこの記載については、なぜこれでいいのかという部分が不足していると思いますので、
0:14:40	そのあたりもう少し丁寧はこの考えの妥当性みたいなものを表現。
0:14:47	するようにお願いします。
0:14:52	日本原燃すべくどうぞ。
0:14:54	すいません、日本原燃沢川です。ちょっと 1 点確認させてください。今の御指摘の趣旨っていうところにちょっと二つあるのかなというふうに今ちょっと自分とらえました。この二つあるのかなというところで書き足りてないっていうところで代表っていうところと十分に小さくってところのこっちらかなと思ってその考え方を両方っていう意味。
0:15:15	でしょうか。
0:15:17	両方とっていただいて結構です。この記載全体に対してということで、
0:15:25	高銀サガワです。了解いたしました。
0:15:30	規制庁カミデです。あつ等ですね
0:15:35	ちょっと中身の話ですけど、9 ページで
0:15:41	これも、
0:15:43	ここのところ、
0:15:46	これなんですけど、表の 3-1 の三光産業分ですか。この数字の算出式がこのままになったと思うんです、算定の根拠についても記載するようにお願いします。
0:16:08	日本原燃メキです。了解いたしました。
0:16:13	規制庁カミデです。あと、私から最後ですけど、やっぱり先週もお伝えしましたけど、
0:16:21	マスキングの考え方についてですね、基本的にはそういう非公開であるワードだったり値だったりというところを絞ってマスキングするという話を聞いていたと思うんですけども。
0:16:38	やっぱりこういう形だとなかなか話もできませんし、こういうのはまた改められる余地があるのか、それとも、これが日本原電としては、ここまでがぎりぎりになると。
0:16:56	いう話なのかちょっと説明いただけますか。
0:17:01	はい、日本原燃の永塚でございます。当センターの 4 月 20 日にヒアリングの中でマスキング箇所について御説明しております。その際にですね、話した内

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	容を含めて改めて今のマスキングの考え方についてお話しいたします。今の御指摘ありました。この冷却ファンのところ、
0:17:21	そうですね。9 ページ等ございますが、こちらについてはですね冷却塔自体がいわゆる海外の企業商業機密に関わるものということの認識でございます。先般 4 月 20 日に御説明した際にはですね、海外企業の商業機密か情報のマスキング方法、特に文章のところ、
0:17:41	ございますが、そちらについてはですね、非公開箇所は、いわゆる個別設備機器に関わる設計方針ですとか、評価の方法、評価結果、こちらについてはマスキングさせてさしていただいてですね、公開できる箇所は何重に示すといったようなところが何を表す表アバット方の項目。
0:18:01	ダイトとか、そういったところをですね、公開できますというお話をさせていただきます。こちらについては、繰り返しになりますけども、技術移転契約責務の規定に抵触しないまま公開可能な範囲についてはですね、松木のほうについて海外企業の合意を得たということでこんな内容で今後もですね進めさせていただきたいと。
0:18:21	考えております。以上でございます。
0:18:24	はい。規制庁カミデです。完売はお変わりますと、その上で、ちょっと今度資料を作る上でですね、上ですね、これ説明項目、例えばこういう
0:18:41	今回の資料でまとめの一部分が黒く塗られて何の話をしていくかよくわからないというのは、あんまりふさわしくないと思いますので、資料のあまりこう公開に支障がないように、
0:18:56	資料を作っていくということも大事かと思えますけど、その点、資料作成されている側とマスキングを決めている方とのコミュニケーションみたいな、今どういう形になってるんですかね。
0:19:18	日本原燃の永松でございます。
0:19:21	我々の再処理計画部としてのマスキングのほうの作業対応させていただきます。逐次マスキングの内容についてはですね、依頼を受けてご相談をしながらですね対応していくというようなことで対応しています。かつ今お話がありました、いわゆるそもそもの資料がですね、
0:19:41	ほかに必要がないようにというなるだけマスキング減らすと、そういったことも当然資料の構成としてですね必要だという認識は者として持っておりますので、また、特に私たちマスキングのほうですのにとってもですねなるだけきちっとした

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:58	適正なですね、マスクングをですね検討、これまで出てきましたねと対応でさせていただきますということでちょっと話がちょっと前段のマッピングだけになってしまいましたけど、そういったことで継続して対応したいという考えでございます。
0:20:10	私から以上です。
0:20:15	規制庁カミデです。
0:20:17	ちょっと実態はどうなってるかよくわかんないんですけど、資料をつくって作ってできたものをマスクングを見る方がマスクングをしてというだけですねやはりこういう形になると思いますので、作成段階である程度コミュニケーションとっていただくということも大事かと思えます。
0:20:37	ご検討いただいてですね、
0:20:43	より公開性のある資料が今後出てくるということを期待しますのでよろしく願いします。
0:20:52	日本原燃の永塚です。承知いたしました。ありがとうございます。
0:20:57	規制庁カミデです。私の方からとりあえず以上です。
0:21:02	はい。
0:21:03	規制庁の武田です。その他低調側から確認事項ございますでしょうか。
0:21:12	よろしいでしょうか。
0:21:15	はい。
0:21:17	それでは起電 17 の資料は事実確認以上とさせていただきます。
0:21:25	では次の資料が耐震建物 10 でしょうか。
0:21:29	こちらにつきまして、日本原燃の方から補足で説明等はございますようお願いいたします。
0:21:41	うん。
0:21:43	日本原燃トガシ行います。
0:21:45	こちらのほうの建物の耐震 10 につきましては前回いただいておりますヒアリングのコメントを踏まえまして特に前回の資料でいきますとその鉄筋コンクリートの減衰定数の設定におきまして供用の知見とかですね、他の発電所の
0:22:00	エ治験の方メインですね展開の方させていただいておったところでございますけどもこちらの方にも当初としての地震観測記録による検討などを追記したような形のほうで機能のほうの拡充のほうといったところで、この本日こちらのほうの内容につきまして、1 個議論させていただきたいというふうに思っておりますのでよろしくお願いいたします。
0:22:19	日本原燃としては以上でございます。
0:22:23	規制庁タケダです。それでは規制庁側から自立国庫に進めていきます。この資料につきまして事実確認があればお願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:37	気象庁のキシノです。
0:22:39	6/Gでちょっと確認したいんですけども、
0:22:46	6 ページのアンダーライン引いているところで、原料加工建屋は建設工認における設計を踏襲し 3%としているという説明が
0:22:57	追加されておりますが、前回のヒアリングのときに、ちょっと確認を求めたんですけど、既設工認で
0:23:06	それまでの再処理事業所で作業していた 5%と異なる 3%を設定するにあたっての経緯とか 3%に妥当であるというような説明検討がなされていたと思うので、それについて、もう説明を加えられないかというようなことを、前回、
0:23:26	思うんですけども、それについては特に追記されてるのではないんですけど、それを確認されたんでしょうか。
0:23:34	一方、
0:23:35	日本原燃の井上です。4 ページのほうをご確認いただきたいんですけども、2 パラグラフ目も大間から始まるパラグラフ鉄塔段落の線ひいてあるところなんですけれども、
0:23:54	あとは建て替えというところで、条約で基本 05%としているというところでただし書きで名燃料加工建屋については、既設工認事例、当時の発電炉での安全審査の実績を考慮して 3%。
0:24:12	という設定したっていう、当時の 3%の考え方のほう明記させていただくという形で総研に対しては対応させていただきました以上になります。
0:24:28	一つのキシノです。当時の発電炉の安全審査の実績を考慮して 3%に設定した経緯の中身についてちょっとお聞きしたかったんですけど、これはもうこれ以上掘り下げた説明ができないんでしょうか。
0:24:46	うん。
0:24:55	日本原燃の井上です。当時の資料としてはそれ以上の掘り下げた経緯といいますかそういったものについてはちょっと今まだ今段階というか、説明で運ぶ限界という
0:25:11	ここですね、入れてあります。
0:25:16	救急のキシノです。つまり、規制既設工認で 3%に設定した経緯というのはちょっと日本原電側としても把握してないと、そういうことになるのかなと理解しました。
0:25:27	等で声をかけないというものについてちょっと説明を追加も求めるのは難しいですよ。ですが、沸騰ちょっと後ろのほうに行きますと、なお、12 ページですね。
0:25:40	で、減衰定数についても、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:43	考察
0:25:44	別途、このページを比べて、
0:25:48	下のほう、下から3パラグラフ目ですかね、以上より、で始まるパラグラフの
0:25:56	下3行ですか。
0:25:58	参考として、減衰定数5%とした場合の結果について参考資料に示すという説明がありますので、
0:26:08	おそらく燃料加工建屋については3%を使っているというのは、それ食うそのそれが妥当であるということも問題ないということの根拠としてこの参考資料という今回新たに
0:26:21	追加したのかなというふうに
0:26:23	理解しているんですが、この72ページも、この文書の基準で参考として示すだけであって、この参考資料の位置付けとか参考資料の結果から導かれる結論的なものがここで説明がないという。
0:26:37	お考えによるものなんでしょうか。
0:26:39	ちょっと位置付けとしてあまり表に出したくないというようなふうにもとれるんですけども、
0:26:45	サトウというお考えでこういう記載ぶりになってるのか教えてください。
0:26:51	きっと。日本原燃の保証でございます。この当期の方がおっしゃられたこの72ページのところにつきましては、表現のがもう方法が不十分だと考えておりますので、適切に直したいと思っておりますので、意図としてはですね、5%と3%の結果を比較さ。
0:27:08	参考資料と比較しまして、ほぼ結果は変わらないということを確認しましたので、3%の結果も妥当であるとの差としては考えているというところでございます。非常につきますとあたりの参考資料の位置付けがわかるようにちょっと記載のほうを見直したいと考えております。
0:27:26	続きます。わかりました。
0:27:29	今御説明のあった通り、多分参考資料でもって5%でも3パーセントでも結果に影響はないよということで、おそらく既設工認との連続性尊重した3%にしたとか、そういうことになるのかなと思います。その統計等という、
0:27:47	オオオカ意味合いもですね主旨で合ってるのであれば、そういった解釈といたしますか。結論ですね、この参考資料も考察も含めて、明確に書いていただくようお願いいたします。
0:28:00	日本原電の藤原でございます承知いたしました目的と結論を丁寧に記載するようにいたします。
0:28:06	はい、既設のキシノです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:08	あと一つ、ちょっと 12 ページに戻っていただきまして、板上た事実確認になりますが、
0:28:15	12 ページの上の文章の下線が引いてあるところで各建物構築物の基礎部及び二重化の買った部に行きする使う壁等も様相は結果説明があるんですが、これ気相部及びつか壁等の等と
0:28:32	ていうのを下にもいろいろなある部位を含んでるんでしょうか。抜本的バロー別なんですけれども、その通りに含まれるものも含めて明確にしたほうがよいかと思うんですが、まず冒頭に含まれる部位にどう説明していただけますか。
0:28:49	日本原電の布田でございます。この頭の中にはですね開閉器も耐震的の端っこのいくものも含まれておりますので、その辺りの当明確に記載するようにしたいと思います。
0:29:02	施設のキシノです。はい。書けるのであればですね、これは対象にしてる部位のを明確にさせていただいたほうがよいかと思うので、当可能な限り明示した子をお願いします。私から以上です。
0:29:15	日本原燃保証です承知いたしました。
0:29:25	規制庁タケダですその他規制庁側から確認事項ありましたらお願いいたします。
0:29:35	提供ハバサキです。
0:29:37	今日この資料に関して冒頭トガシ参加落下点に関しては確認しましたそのお話っていうのはあれっとPA建屋に関しては、コサクも含めた追記がなされているということで理解しました。
0:29:55	ただ、B、Bの冷却塔の基礎があるCということで、その扱いについて何点かちょっと確認したい点があります。
0:30:05	まず資料の 40 ホシノ 46 ページ、これ班。
0:30:12	まず現行の情報なんで、具体的な話はできないんですけれども、結論的にその構造物のGuide減衰の影響が少ないという趣旨なん。
0:30:27	表現されているというふうに理解してますけれども、
0:30:33	結果からすると、決して
0:30:37	両部構造の影響は小さいとは言えないんじゃないかというふうに思います。それはその前の 44 ページとの比較からも明白なんですけれども、なぜ 46 ページのところで、このような結論に至ったか。
0:30:52	その理由を説明してください。
0:31:13	日本原燃の井上です。ただいまご指摘いただいた点についてちょっとマスキング箇所なので同程度まで答えればいいのかちょっとあれなんですけれども、
0:31:27	全体の

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:32	量から現数量減推量といいますか求めた辺りに対して単純に大正大する。
0:31:43	7割ぐらいから、概ね
0:31:50	地盤のほうが支配的であるという結論からこのような
0:31:56	記載をさせていただいております。ちょっと
0:31:59	マスキング箇所であり僕はいわゆるかわかんないんですけど、ちょっとこの程度で、すみません、以上になります。
0:32:06	ちやわないですね、主組織文化的見ますと、鉛直に関しては今の説明でいるけれども、提言に関してなんです、上部の寄与分と逸散減衰の寄与が
0:32:18	今ここで問題活発な情報をおたくなかったんですけど
0:32:25	多分誤記だと思いますけれども屋上部構造の元帥が寄与分というのが、
0:32:32	前の44ページのそっち全体に対する比率をから見ても、
0:32:38	簿差があって、ペイして上部こんなに小さいとALと14。
0:32:46	この結果からは結論的できるというふうに私は理解してますんでこれは先行炉等との比較をしてもですね。うんで、これは明らかに名冷却塔のような安全な構造物例、
0:33:05	ここ小さい売却ね、その赤いっていうのはやはり違ってくるんですけど、これ。
0:33:12	その中身が見えないんですけど、文章は全く変わらないような文章になってますね、ちょっとここはもう少し丁寧だ。
0:33:21	では、2台が統合にも特性を踏まえた考察が必要かというふうに考えますが、5点いかがでしょうか。
0:33:34	少々お待ちいただけますでしょうか。
0:34:03	そう。
0:34:09	すみません。日本原燃読める様お待たせいたしました。
0:34:13	ちょっと今のハバサキさんのコメントを受けまして、今一度資料のほう3日しているんですけど、ちょっと記載のほうが適切でないところがちょっとありまして、
0:34:31	マーカーの4ポツへと47ページのですね、4ポツ1ポツ2-2表、kAとCとEで
0:34:45	ガス囲っているんですけど、こちらの上のほうの部分については、冷却塔の
0:34:55	人もコンクリートの部分ではなくて、上部のてっ交通法の
0:35:04	ひずみが結局の収入が出やすいということで、触れ合いのためにこのような結果になっていると6ページのほうにですね、ちょっと記載させて表で記載させているんですけど、
0:35:21	この表には

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:25	建物構築物の大間減衰定数示して、機器配管系に分類される屋外機械基礎の上部構造物もう減衰定数については示していないというところで、先ほど申し上げた 47 ページの
0:35:42	公表の支持架構格好鉄骨造ってのはまさに事に当たるところですので、今回の資料を御様子としてはRC造の減衰 5%であることの妥当性に関していうところ。
0:36:01	あとと思いますので、
0:36:07	今後、表ビュー基礎のところだけ見れば、その全体に関して、今もうほぼほぼ、
0:36:16	聞いてないということがいえるかと思しますので、そういう意味も踏まえれば、ちょっとこのアプリがひとくくりになったのがちょっと
0:36:29	いけなかったのかなと既得権次第でも基礎のコンクリート造だけに絞ってある種のとこだけに絞って言えば、前の
0:36:40	ピーエイのような考察ができるのではないかどうかというふうに考えております。以上になります。
0:36:48	日本原燃の布田でございます。少しだけ補足させてください。
0:36:53	この資料はですね、
0:36:55	建屋等僕は 1 回既存のRC部分での減衰定数の検討ということで、1.1 の通しページのですね。
0:37:06	3 ページの冒頭のところで宣言しているんですけども、それが堂々とか飛来物防護ネットとか竜巻が排気塔とか除くというふうな客さしていただいております、こちらは先日も 5 月 26 日のヒアリングでも似たようなコメントいただいております、
0:37:23	を除いたものについてはどこで説明するのかというところを明確にするよう指摘いただいております、こちら冒頭でこの資料も含めて冒頭で宣言するのがいいというふうには考えております、と共通の記載ぶりのほうを今検討中ですので、
0:37:38	おっしゃって明確にしたいなというふうに考えております。以上です。
0:37:43	規制庁、青木です。説明は理解してますし、この資料のずれの理解してますので、今もお話があったPA建屋側の考察に関しては、そのうちのその文書上にある数値との対応もとれている。
0:38:02	で、これはまさに国と同じことをされているということに関してなんですか、46 ページに関してはですね。ずっと母体を見ると、どうも結論と違うんじゃないかということになりますので、ここは多分この文章の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:17	内容は、先ほど言われたような形で、逆の結果となり、規制庁カウンタ話なのでそこを丁寧に明確な形で説明を
0:38:31	それを求めたいと思います。いかがでしょうか。
0:38:35	日本原燃の保証でございます承知いたしましたあの考察の対象範囲が屋外基礎部分のRC造部分であるということを明確にしていきたいのを見直したいと思います。
0:38:45	してたはずですが。それに関連しておりますが、同様にAとBなきや等に関してなんですが、74ページのほうに最終的に評価で用いる減衰定数の作業ができます。
0:39:00	で、この中で、冷却塔競って、真ん中の列になる単純な広告物は構造体に相当しますけれども基本の設計の先行ではあまりこの患者交付固体っていうのは、
0:39:15	ないというふうに認識してますんで、実際の応答できたと、基礎っていうのはモデルが見てもわかるように、もう一度やったら5番でしかないということで、
0:39:29	しかも夏場あまり期待できない。
0:39:31	ということ。それとあと、今74ページの元帥よう最終的に決める根拠としては構造体が落下单純化、それから、今、縦方向に縦軸は、
0:39:47	入力どうなってるんですけども、要は入力動ではなくて、実際は入力動に講じた冒頭の出だしの応答ひずみレベルといいと思うんですけども、それによって減衰っていう前意見をするというふうに出してます。
0:40:01	それで、今メーキャップのに関しては、5%を原則とするんですけども、中計お1人ですね、3%の影響確認を行うということ、SDに対しては行うというふうになってるんですけども、
0:40:18	整数或いは1.2で説明は5%なんですけども、先ほど言ったように、バックこれ単純な構造物であって、3減衰が期待できないものに対して、あとはひずみレベルがやはりほとんど
0:40:35	弾性範囲を、もう、もう実際おきのレベルならば、5%と並ば3本の可能性っていうのは、stageないんですけども、要は今、
0:40:50	ここ5%にするだけにしかしてないねっていうか、なぜ面接等では影響確認を行う必要はないと考えたのか。
0:41:02	その理念について説明をしてもらいたいんですけども、いかがでしょうか。
0:41:24	はい。
0:41:34	はい。
0:41:49	日本原研のイノウエです。この検討に関しましては、まず先行のP系のところで、単純化の同じような単純な構造体に分類されるものがあるものについて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:05	5%としていながらも3%の検討をやって影響確認をしているというところを踏まえて実施したものでありますので、またですね
0:42:24	6、あと
0:42:27	ちょっとこの本資料に基本の知見とかでも河成いただいているところなんですけれども、建家の大間応答レベルが上がるにつれて、別途、現世の
0:42:41	の付与されていくと、こういうことがありますので、当社のA4のような単純な構造体に分類されるものについては、一番入力レベルが低いSDで落とさ5%と3%の比較を行って、
0:42:57	た上でそこが概ね同等ということを確認していればそれよりも応答レベルが大きくなる。Ss相手にも関わらず、それが適用できるという考えのもとに、5%。
0:43:12	妥当であるというふうに整理をしております。
0:43:15	以上になります。
0:43:18	規制庁ハバサキです。今の説明は理解できました
0:43:22	今これだけ応答結果等も含めての説明があれば一番わかりやすいんですけど、現状そのほぼほぼ身体考え方も高中でですね、なぜ別、或いは質問ですけど、そこでは単純な構造体、
0:43:42	3月も少ないけども3%の影響検討はやる必要はないと考えたのか。
0:43:48	先ほど口頭で申し言われたような話だったと思いますので、ちょっとそこ一遍に説明していただきたいのと、あと、既往の知見等と言われましたが、基本的に冒頭言ったように、こういう単純な構造物に関しての
0:44:06	知見っていうのはやっぱ個々の資料の中に内部写真、もしそういうものが追加できるのであればですね、そういったものを踏まえて、ここでは整数MSでは、主%で十分であると判断するとこういう根拠に基づいて判断すると。
0:44:23	いうそういう説明を等が必要というふうに考えます。
0:44:28	応答をそちらのほうの検討っていうのは可能でしょうか。
0:44:33	日本原燃の布田でございます。この単純な構造物については5%とする検討につきましては、この知見といいますか、先行と同じような検討テーマ5%の妥当性を説明すると。
0:44:47	いうストーリーに記載のほうを見直したいと思います。
0:44:52	規制庁ハバサキです今ちょっと御と言われた変更と同じような検討を踏まえてちょっと何か先行と同じような
0:45:02	この点あればなんですけれども、
0:45:06	多分それ以降審査ではなくても、それ以外も含めてですね、こういう単純な構造物時間減衰も小さい子に対しての減衰の考え方について、最終的なこの74ページの結論を導く考察それが必要と考えますので、県との

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:24	検討を必要というふうに考えますということです。
0:45:29	趣旨理解いただけますでしょうか。
0:45:33	すいません有名なウラバヤシでございます。オオサキさんおっしゃった知見というのは先行炉での議論をっていうことで代えさせていただくことは無理なんでしょうか。
0:45:44	施設ハバサキのなんていうな構造区冷却機能聞こえるようなものが変更であればそれでも結構です。
0:45:55	はい、わかりました。兵庫県のウラバヤシが数千年ごろ実績確認しまして、上部構造もあると思うんですけども、単純な構造物というのも先行炉での実例を確認してございますので、それを反映させていただきます。
0:46:10	出ちゃうんですが、鉄塔関連して、最後になるんですけど、109、108 ページから応募冷却塔の加速度応答スペクトルのずれが出てますんでこれも大間勤務情報なんです。
0:46:26	内やっちゃったのはできないけれども、
0:46:31	ここで比較する。
0:46:34	スペクトルの減衰定数は、
0:46:38	この今表記されている値が適切なんでしょうか。
0:46:45	日本原燃の井上です。今ハバサキさんがおっしゃられたスペクトルを書くときの減衰という理解でよろしいでしょうか。
0:46:54	規制庁阿部です。おっしゃる通りですね。
0:46:58	はい。日本原燃の井出さんの以前冬の別の資料になるんですけども、ここ機器評価用じゃない。建家の応答評価するときのスペクトルを書くときの減衰定数は建家の
0:47:17	元帥と合わせるようにというご指摘を踏まえまして、冷却塔の基礎については5%にしておりますので一応5%で統一をさせていただいたということにしております。以上になって、
0:47:34	委員長の方ですが、Paのときに、
0:47:39	建家のコンクリートの減衰定数を使ったPETの表記ということをこちらからコメントしました。
0:47:46	今108 ページからの応答スペックルでここで言うことは、疾病センチの応答スペクトルの比較なんですけど、このときにも、この数値で妥当なんでしょうか。
0:48:08	日本原燃の内田でございます。今のハバサキさんの御指摘を踏まえてちょっと気づいたんですけども、そもそも冒頭のところで、この上部構造物については抜くと宣言する。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:19	当てにしておりますので、そもそもこの資料においては、1-2のところのスペクトルは不要だというふうなことに今気づきましたので、適切に見直したいと思います。
0:48:35	規制庁ハバサキです。ざくつと言われると、別途、結果的にこういうこの比較自体は、機器側の資料のほうに記載されるということ。
0:48:48	運航して、それということで、2月の低さ。
0:48:52	はい。
0:48:53	日本原燃の保証でございます。件数の機器への影響、機器のほうで説明するというふうな整理をすると、社内で調整を進めておりますので、そのような方向で考えております。
0:49:05	規制庁ハバサキやつ、今の説明いたしました。ここですね、私のほうからは機械の性格一般点で、細かい話が多いんですけども、何点かさせていただきます。
0:49:20	まず49ページから今回、
0:49:28	シミュレーション解析の資料が追加されてまして、これ分離建屋の地震観測のシミュレーションなんですけども、49ページにその情報も示されてますんで、
0:49:44	収入相関式でも沈下建屋の使用材料特性が57ページの表に出てますが、
0:49:52	物性値はこれは実強度と実兵庫ベースの誤設置でしょうか。
0:50:00	日本原燃の井上です。ご指摘の通りでございます。以上になります。規制庁ハバサキです。冒頭ちょっと装填49ページのほうに記載をして参りたいと思いましたがいかがでしょうか。承知いたしました。日本原燃のL承知いたしました。
0:50:17	規制庁ハバサキです。
0:50:19	それから、64ページに行き、
0:50:22	65から66ページ、ここの記録観測記録との比較のスペルッドが出てます。
0:50:29	このスペクトルの計算するときの減衰乗数、
0:50:35	の記載がないんですが、
0:50:38	これは5%でよろしいでしょうか。
0:50:41	確認書おそらくそうだと思います発表記載させていただきます。確認して記載させていただきます。以上になりますんで、日本原燃の井出です。
0:50:52	規制庁ハバサキです。
0:50:56	どうぞ。
0:51:02	はい。
0:51:04	はい。従ってケースの私の方から以上になります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:09	すいません規制庁モリノですけど、ちょっと1点確認させていただきたいんですけど先ほどハバサキからいろいろなことも減衰の数字の話があって、それをまとめられたのは、70年の約74ページなんですけど。
0:51:26	これ、なんか見ると今までの話だと加工建屋はその後／年でいいんだけど、今回は当期工認の実績を入れて、
0:51:36	流れを見てその3%ですよっていう話だと思うんですけど、ここでは何か%がやっぱり絶対メインになっているっていうふうな見え方がするんですけど、これをまとめたときにその申請者と成果計算書のやっつっていうのは企画部
0:51:53	最終的側のほうと加工建屋のやつとは一体何が原因でどの数字で計算するというのが見えてくるんだろうというのがちょっと言ってくるんですけど。
0:52:04	寄付僕はもう再処理の本会の冷却塔の基礎のやつは5%でやるっていうのを書いてもうその加工建屋のほうは3%でやるっていうのが申請書に載ってきて、その計算結果が
0:52:21	それぞれの申請書の計算書にくっついてくるっていう、まずそういう構成でいいんですかねその申請書のほうは、
0:52:30	日本原燃の保証でございます。ご指摘の通りで再処理系については御計算書5%で、燃料加工建屋については、5%が妥当だと思っているけれどもここに落とすとして3%でやりますという旨を計算書にも会計何%でやっている。
0:52:47	ということでございます。
0:52:49	すいません日本原電ウラバヤシでございます。若干補足しますわかりやすさということでは、タナカ14ページの表の右端ですね、燃料加工建屋今5人注釈で3となっておりますが、逆に、
0:53:04	3と設定するで注釈が5というふうで報道はどの事業者として強い構造が基本とするものという形でいかがでしょうか。
0:53:17	回答規制庁モリノです。すいませんし、文書のなんか構成でその申請書%計算書のほうが上位でこの文書っていうのは、補足説明資料の扱いになると思うので、
0:53:33	思ってもうおそらく今お話いただいたというふうに整理されないと、結局事業者として何か／7日半端なのかっていうのはどっちをメインとして申請してるんだというのがわかんないと思うので、これは指令書の補正考えた上で、どっちとられるかっていうのは、
0:53:52	日本原燃のほうで選択していただいてそれでもうロジックだったようにですねその申請書の計算書もこの補足資料のほうもちゃんと整理してもらっていることだと思っています。
0:54:06	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:08	日本原燃内田でございます。戸籍踏まえましてこの同じ4ページの表はですね店舗の計算書に設定している減衰の値ということで号と3を記載して長尺のほうで
0:54:20	県の計画でも妥当だと思っているという旨を記載させていただこうとその整理がいいと、今話しましたのでそうさせていただきます。
0:54:29	規制庁モリノです。
0:54:31	お願いよろしく願いますえとですね、その後ろのほうの話でも今あったと思うんですけど、結局その申請書とか計算書、
0:54:41	dの考え方を本当に今回何を補足したいのかっていうのが結局数字が起こっちゃってよくわからなくなっているっていうのが僕の印象ですんで多分そう辺ちゃんと整理して、何がその申請で何型の影響評価なのかっていうのをちゃんと区分けして他のその資料を作っていただきたいと思う。
0:55:02	以上です。
0:55:03	日本原燃の布田でございます承知いたしました。県については全体として、事業者として詳細ことがわかるような回答したいと思います。
0:55:17	規制庁の武田です。私も1点コメントなんですけれども13ページですね、3ポツとして減衰定数に関する既往の知見の整理とあるんですけど、①から③、
0:55:33	でですね発電炉等の日英知見等を比較して記載がされているんですけども、おそらくこれはもう基本岩砕等のことを目の発電炉との比較になっていると思うんですけども、曲げの施設で何がサイトの話かと思うので、何かサイトの発電の。
0:55:52	についての比較についても記載をしたほうが良いと思うんですけども、いかがでしょうか。
0:56:06	日本原燃のフジワラでございます。こちらの記載についてはですね、ここがサイトとの比較をしたつもりはなくてですね。特会とか柏崎とか、／いわゆるだんだんサイトのところの比較をしたつもりなんですけれども、特にその2番のところ堅硬な岩盤に支持というところが、
0:56:23	表現として適切でないような気がしますのであったり
0:56:31	岩盤に支持されているというところは事実なんですけれども、
0:56:36	ちょっと記載のほうかどこと比較してこうい
0:56:41	記載になったのかというところを明確にしていきたいなというふうに思います。
0:56:45	はい規制庁武田です。おっしゃる通りで健康な岩盤っていうのが項番サイトとの比較なのかなというふうにちょっと認識してしまっていましたので、どのサイトと比較したのかっていうのを明確にしていいただければと思います。
0:56:58	対象といたしました資格者サイトの方面に明記するようになりたいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:03	規制庁タケダです。お願いいたします。
0:57:06	その他規制庁側から耐震建物 10 につきまして事実確認はございますでしょうか。
0:57:15	規制庁管理です。ちょっと単純な確認なんですけど、これ既認可で燃料加工建屋 3%ってなってるんですけど、正確に燃料加工建屋だけ 3%と言っているのか。
0:57:34	MOX燃料加工施設全体として 3%としてやっているのかという、それはそれはどちらなんでしょうか。
0:57:46	日本原燃同士を二つ下のこちらのほうとしましてはPa建屋燃料加工建屋として 3%のほうで実施しているといったところでございます。他の多分この燃料加工建屋の建物としましては、こちらのほうのある取水ある日の減衰定数を設定するというものはございませんので、
0:58:03	自動的にこの燃料加工建屋のみが 3%適用になってるといったところでございます。
0:58:09	規制庁カミデです。一応再処理とのどうどうについては今日も複数のものだけどもあれはBクラスだから静的でっていう話で、燃料庫を建てた結局ことですかね。
0:58:26	日本原燃同士でございますが、カミデめのご指摘の通りでございますので所のほう、Bクラスの設定でございますので静的のみの設定になってございますので、RCの減衰定数としてどうかで用いてるものを設定するものとしてはこちらのほうの燃料加工建屋のみが対象となっております。
0:58:43	はい。あと最初にとの共用っていうのはどう共用する建屋、あとは新設だと緊待所ですかねその辺をどういう考えで設定されるつもりです。
0:58:58	業務のトガシでございます。基本的に今後創設する施設としまして緊待所等がございますけども、こちらのほうに関しましては 5%の減衰乗数といったところでKFのほうを設定して対応を図っていきたいというふうに思っております。以上でございます。
0:59:16	規制庁込みですわかりました。私のほうからは以上です。
0:59:23	規制庁の武田です。それでは耐震建物 10 の事実確認は以上とさせていただきます、次の資料の(2)に進みたいと思います。
0:59:34	次の資料が耐震建物の 15 でしょうか。こちらにつきまして日本原燃から補足ありましたらお願いいたします。
0:59:46	日本でどうしてでございます。こちらのほうの建物耐震中部といたしましてはちょっと教師のほうの注記のところにも記載させていただいてございますけども前

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	回いただいたコメントのところといたしまして、弁別作成しました資料が全体の共通する部分といったところのですね記載ぶりのところが、
1:00:05	ちょっと欠けておりましたすべて5ページのほうでカミデというような形になってございますので、基本的に共通する事項といったところに関しましては他の資料と同様な形のほうで、本文のほうに展開いたしまして、あとはその個別の中身といったところに関しては別紙のほうでとかそういったところで、
1:00:21	全体的に後継の方見直しのほうを実施してございますので、そういったところで表紙のほうに記載させていただく部分の大幅な改定に伴って任せのほうは省略しているというような位置付けになってございます。
1:00:32	逆に私場所以上でございます。
1:00:37	規制庁タケダです。ありがとうございます。それでは規制庁側からこの資料につきまして事実確認あればお願いいたします。
1:00:54	うん。
1:00:58	うん。
1:01:01	速度層ですか。
1:01:03	ですからほぼ大体高速さん。
1:01:14	規制庁の武田です。私のほうが1点中身に関するところなんですけれども、最後の23ページ。
1:01:24	になります、
1:01:28	2ポツ1の拘束条件設定における壁開口の反映方法のところになります。
1:01:37	等でこれの②のところです、必要な壁開口については梁要素を設定しない、或いははり要素の剛性を低減することで考慮するとあるんですけれども、
1:01:48	その開口の大きいや小さいの区別ですとか剛性低下の考え方について説明いただけるでしょうか。
1:02:04	日本原燃の菅原でございます。
1:02:09	こちらですね海溝の目安としましてはですね、Pa過程につきましては、6割程度ですね海田解体して6割程度の開口の場合隠蔽につきましては、
1:02:26	6割程度というところ目安にしてですね、それ以上大きいものにつきましては、梁要素設けず、それも小さいものにつきましては剛性を低減して考慮するというで
1:02:40	設計を判断しております。またちょっとすいませんこちら②のところの頭のところが残った主要な壁開口についてはということだったんですけれども盗取というのが抜けてしまっておりました。申し訳ございません。
1:02:56	以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:59	規制庁タケダです。はい。説明の内容は理解できました。その6割テープとかってというのは、特に何か基準があるわけではなくて感覚的な設定になるのでしょうか。
1:03:16	日本原燃の菅原です。はい。こちらの特例のそういった明確な基準というところが決まったものをごさいますのでこれは設計者判断ということになります。以上です。
1:03:31	規制庁タケダつわかりました。
1:03:35	またちょっと1点気最低コメントなんですけど②の下ですね、例としてあるんですけど、文書が途中でおかしくなっているので、ご参照元が見つかりませんみたいな記載になっているのでちょっと資料を誤記とか内容にこれは1今一度見直すようお願いいたします。
1:03:54	日本原燃菅原でございます。はい、アウディ社ごさいます。最後のところにフジノ気体が残ってしまっておりました。修正して提出再提出いたします。
1:04:06	以上です。
1:04:08	うん。
1:04:09	規制庁タケダです。この資料につきましてその他確認事項ごさいますでしょうか。
1:04:15	規制庁ハバサキです。ちょっと今の
1:04:19	やりとりの中で、もう1回確認したいんですが、
1:04:23	開口の大小に関しては、高さ
1:04:29	は資本などだけなんでしょうか。
1:04:31	幅とか面積だとか、その全体に占める比例費道だとか、何らかの考えってというのはないんでしょうか。
1:04:39	いかがでしょうか。
1:04:47	日本原燃の須川でございます。基本的にはパタツというところが主だとみなすということではあるんですけども、上下階オオオカ日に要は応力が伝達可能かどうかというところが、観点にありますのでそういったことを踏まえて、設定しているものごさいます。
1:05:08	以上です。
1:05:11	規制庁浜崎です。
1:05:13	はい。
1:05:16	ちょっとモデル化をする上で、今の回答でほんとにいいのかどうかなんですけれども、ちょっと

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:25	もう一度保持確認をしてもらいたいというのをよく覚えなく開校工数市内のその大小の話なんで、何らかの、その考え方っていうものがあるというふうに私は認識してますので、そこ、
1:05:42	もう一度調査の上、適切な記載をしてもらいたいというふうに考えますが、可能でしょうか。
1:05:52	はい。日本原燃そのままです。詳細を確認いたしまして、もう少し記載のほうです、詳しくするように見直したいと思います。
1:06:03	以上です。
1:06:04	規制庁ハバサキです多分ここにそんなにGP具体的に定量的にそういう資料はないかとは思いますがある程度考え方っていうものがあるかと思しますので、その検討をお願いします。私から以上になります。
1:06:24	そうです。承知しました。
1:06:30	規制庁タケダですその他慶弔側から確認事項はよろしいでしょうか。
1:06:37	そういう緑化未定です。
1:06:41	今回この資料ですね、別紙 1 に冷却塔があつて、別紙に発報建屋と。
1:06:51	待ってるんですけど、実行次回以降で説明を追加するものがあるのかなのか説明してください。
1:07:06	はい、日本原電相場です。次回につきましては、革新性、建家ごとにですね、こちらのページのほうをつけていくということで考えております。
1:07:20	規制庁カミデです。
1:07:25	耐震建物の 17 の資料とかだとですね、目次のところにそういうところ書いてあってパッカーられるので、全体的に当事会で何を示すか今回どこまでかというところの整理いただく必要がありますので、この資料にもそういった今回反映しておくようにお願いします。
1:07:47	はい。日本ベース側です。はい、承知いたしました追記するようにいたします。
1:07:56	はい、ではその他なさそうでしたら、次の資料の事実確認進みます。続きまして耐震建物 16 でしょうか。
1:08:06	こちらのほうを下、日本原燃から補足で説明がございましたようお願いいたします。
1:08:14	日本原燃どうしてございます。こちらのほうの資料につきましても、先ほどのモデル化の考え方と同様でございまして、一応しろさせていただきまして、受けたコメントいたしまして全般的なところに関しましては、前段のほうで共通事項という形のほうでフィルタをさせていただいたといったところが主になってございます。
1:08:34	日本原燃これ以上でございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:37	規制庁タケダですね。ありがとうございます。それでは、規制庁側から事実確認があればお願いいたします。
1:08:47	規制庁カミデです。
1:08:49	当初の 5 ページの下から 2 パラ目のなお書きのところの時審議会の荷重として鉛直と積雪を考慮すると書いてあってもそうだと浮力は上向きに一応っていう説明だったんですけど。
1:09:09	ちょっと特に積雪Ⅱですね。あと鉛直荷重ですけど、どういうふうに入力してるかっていうの説明を加えて欲しいなと思うんですけど、とりあえず現状というふうにご説明いただけますか。
1:09:31	うん。
1:09:48	規制庁カミデです。日本原燃聞こえてましたか、すみません、少々お待ちください。
1:09:59	うん。
1:10:00	はい。
1:10:05	日本原燃のホシノですけども、今の質問に対してなんですけれども、鉛直荷重及び積雪荷重こういった形で考慮しているかという点に関しては、もう上部構造の
1:10:17	これらの過剰になってきますので、土地基礎、
1:10:22	上のレベルですね要は耐震壁脚部のところのモデルの設定にと鉛直方向の荷重として入力しているという状況でありますようになります。
1:10:33	規制庁カミデです。そうすると、
1:10:38	通しの 1034-1 から 17 ページに含まれ含まれているということになりますかね。
1:10:49	ふうん。
1:11:05	日本原燃の細田ですけども、
1:11:08	N通しの 1034 ページに記載しているところにAと同じように、と鉛直方向入力しているものもあります。ただ基礎スラブの上側に乗ってくるような積載荷重ですとか、そういったところに関しては、現状その中核
1:11:25	1 ではないところの設定にもかけているというものも含まれています。
1:11:30	規制庁カミデです。そういった部分もですね、説明をいただきたくて、
1:11:38	は地震以外の箇所についても、こういうふうに言っているというような形で説明を加えるようにお願いします。
1:11:51	すみません。
1:11:54	電源のホシノです。承知いたしました。
1:12:00	その他規制庁側からデイス確認があればお願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:10	よろしいでしょうかね。
1:12:12	それでは耐震建物の 16 は以上とさせていただきます。
1:12:17	次の資料が耐震建物の 17 でしょうか。こちらにつきましてリスクに進めていきます。日本原燃の方から補足で説明事項がありましたらお願いいたします。
1:12:33	いよぎんで飛ばしていただきます。こちらのほうの組み合わせ係数法適用性に関しましては前回御説明した際にですねちょっとあのフロー関係のところ、先行電力のフローと少し異なった部分等がございますので、こちらの方、今一度ですね。
1:12:48	先行電力での実施方法といったところを先と確認いたしまして、そちらのほうにのっとった形のところで、再度整理させていただいたというところで大幅な解決といったところで今回あの資料のほうは計算していただいているというような引き継ぎでございます。
1:13:05	日本原燃からは以上でございます。
1:13:08	はい、ありがとうございます。それでは規制庁側から確認事項がございましたらお願いいたします。
1:13:16	所長のキシノです。
1:13:18	資料の 10 ページについて確認したいんですけども、
1:13:23	取得カラー三つ目のパラグラフになりますかね、検討はから始まるパラグラフを
1:13:30	4 行目で、
1:13:32	検討においては、地震動ごと個別に
1:13:36	海脚ってどこまたは保守的であることを確認すると。
1:13:40	これが一つ目の文章で、その点なお基礎スラブの評価では、
1:13:46	同等または保守的であることを確認するという、二つ目の文章が
1:13:51	数えているんですけども、この二つの文章の意味がちょっとよくわからなくて、
1:13:57	この二つの文章の違いって何だろうと
1:14:02	対象がそれぞれ違うんですか、それとも同じ対象に対して、
1:14:08	であれば二段階評価をやっているように思えるんですが、これはどちらを意味してるんでしょうか。
1:14:19	日本原燃の菅原です。
1:14:22	こちらですね検討においてはという最初の部分につきましては、系統地盤等、来コサク両方の説明となっております共通する部分になります。なおが昨日その基礎スラブの評価ではってところが、こちら設計と地盤の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:42	ではですね、こういった経口楽でのっていうものがございませんので、後半のコアの基礎スラブのほうに限定して経営追加を書いているといった趣旨でございます。
1:14:58	以上です。
1:15:01	今日のキシノです。わかりました。それをちょっと対象を明確にして書き分けていただきたいんですけども、ちょっと今の御説明だとすると二つの文章に基礎スラブが入っているので、基礎スラブについてはいわば二段階評価をするというふうに理解しました。
1:15:21	これ、そうしたときに基礎スラブについてまず一つ目の文章は地震の候補と個別に組み合わせ係数応答時刻歴は当行比較するという露頭保守的と言えない場合には、
1:15:35	次に、
1:15:37	地震って等でそれを包絡した組み合わせ係数法の10分で共和党比較するという。
1:15:46	次のステップになるわけですが、
1:15:48	このSsを包絡した組み合わせ係数法と比較する時刻歴はっていうのは、これはやはりSsを包絡した最大値なのか、それとも、
1:15:59	個別のSsのものになるのかどちらですか。
1:16:05	日本原電の菅原です。時刻歴はの方はあくまで個別差となります。
1:16:15	早期のキシノです。結構
1:16:17	この二つ目の文章で組み合わせ係数法はすべてのSsの中で包絡したものです。それと、
1:16:25	比較する時刻歴女の方はすべてのSs包絡したものではないというふうに理解したんですけど、同じ最大値同士
1:16:35	それ自身あの中での最大値同士で比較しない理由っていうのは何なんですかね、ちょっと理解が足りてないのかもしれないんですけど、教えていただきます。
1:16:51	少々お待ちください。
1:16:57	そう。
1:16:58	次、
1:17:19	すみません、日本原電の菅原です。時刻歴はのほうはですね、あくまでその時刻歴ですので、津浪ごとにしかそもそも出てこないものになります。遅刻力量の中で、各波の中でですね、一番
1:17:39	おっきいものと比較しておりますので、スポイットの意味で崩落のほうと比較をしているということをどう理解しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:50	規制庁のキシノですね、ちょっとまだ理解が追いついてないんですけど、時刻歴は向こうもSsが複数あって、
1:17:58	その中で最も大きい。
1:18:02	設置圧を示すSsもあるわけですよ。それと前清掃崩落した組み合わせ係数法等の比較なんですか。変わり前清掃崩落した組み合わせ係数法を超えてくるような時刻歴。
1:18:18	の設置っていうのが発生しないのかなと思ったんですが、その虜でしょう。
1:18:39	予備の投資がございませう。基本的に時刻歴機能評価になって参りますのでこちらのほうとしましては当然整数となっております各Ssに対して各々の時刻歴、SEであれば成績に対しての水平と鉛直の時刻的にはとの
1:18:54	9月のほうを実施したものと、あとは最後に書いておりますのは、基礎スラブの検討の中におきましてはラプチャ検討してございませうのでその包絡荷重との比較のほうを実施しまして、各地震はの時刻歴で足し合わせたものってカワモトを包絡で実施しているものといったところを比較してこの崩落している方のほうが保守的になってるといったところを確認すると。
1:19:14	ただ、確認の方法を実施してございませう。
1:19:20	規制庁のキシノですか、ちょっと私のほうでも頭を整理しますんで、この件を一旦置いときます。ただ二つの文書の対象がそれぞれ間違うといひませうかそれちょっと明確に説明していただきたいといひませうと、もう一つはですな、コサクまで先行サイト直近で言くと柏崎投入を
1:19:40	参考にしてこの記載を書かれてると思ひませうですけども、この二つの文章ってそれぞれ等に当柏崎から持ってきてるような
1:19:51	文章なんですよ、必ずしも
1:19:56	とにかく柏崎っていうのはこの二段階評価っていうのは知ってないのかなと思ひませうんですけど、それは分曉町がそういう見ただけで中身についてはちょっとまた確認しきれてないところがあったのかもしれないんですけど、この手法っていうのは先行サイトと同じであることを確認してませうでしょうか。
1:20:16	日本原電の菅原です。この二段階というところにつきましては潜航とも整合しているなどを考えてございませうんで、実際先行ではですな睨ん回目に移る前に
1:20:32	個別差の比較のほうで収まっているといひませうことで結果してそっちが出てきてないといひ部分もございませうので、そういった部分でちょっと見え方が違っているのかなと考えてございませう。
1:20:47	規制庁のキシノですよ。わかりました。そういう意味ではですなちょっとページが全然つか14ページですよ帳簿構造物についての説明が、ページと同じような疑問といひか含めてですよ、14ページ、これは1、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載してひませう。発言者による確認はしてひませうせん。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示ひませう。

1:21:05	その上から4プラグが※検討はで始まる文章、これもこれから4業務で検討においてはまず地震動と個別についてというのが一つ目の文章で、
1:21:16	6業務にある深度ごと個別に消火つってええと同等または保守的と言えない場合、
1:21:21	のが次のステップということで、これも二段階評価のように読めるんですが、これもですんで
1:21:32	一つ目の文章については柏崎と同様からと鉄エレベーションについては、Tallの主排気塔の辺りで、これてる方法なのかなと思うんですが、これもまず二段階評価という理解でいいのかということと、こういうもの施工サイトとの整合性という観点で整合とれているかどうかについて教えていただけますか。
1:21:53	やはり日本原燃の菅原です。こちらのほうですね先ほどの地盤基礎の応答合うと同様でございましてええと整合がとれていると考えております。結果して前項のほうでは二段階目に移っていないものもあるためそのあたりが多分に見えていると。
1:22:12	ということだと考えております。以上です。
1:22:16	規制庁キシノです。ウラボヤシ理解はできました。14ページの会議はこれは先ほどの10ページで説明いただいたものとは違って、一つの文章と二つの弁の文章とエコー対象とするものは同じだと思いますので、
1:22:34	10ページでちょっと指摘しましたんですね、それぞれも文章対象が違う場合はその違いも同じであるならば同じだろうとわかるんですね、説明を加えておいていただきたいのと、二段階評価ということで、もう少しですねこの別個馬
1:22:51	今のご説明だいたいわかりましたけどもう少しことが私たちでできるところは御説明していただきたいと思ひますし、あとすいません10ページに戻っていただきまして、
1:23:01	先ほどのパラグラフの一番下の行ですね。
1:23:04	洞道たまたま保守的と言わない場合は時刻歴はによる最大接地圧及びバスを
1:23:11	地盤及び基礎スラブ評価への影響検討を行うということを書いてありますんで、これに対応する実際の結果というか、例えば後ろのほうで28ページと29ページ。
1:23:27	引き続き、これは地盤の基礎スラブについての検討結果なんですけど、28ページと29ページで見比べたときに、この
1:23:37	両者の違いが明確でなくてですね、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:42	具体的にどういう検討 28 ページで検討して 29 ページに移ったのかというその繋がりがその前の 27 ページからの説明にも具体的な説明があまりないもんですから、そこは仮に困ってますし、
1:24:00	これらの検討結果から、今回追加されました 13 ページのフロー図もですね。
1:24:07	繋がって、それぞれの結果が取りとこに対応してるのかっていうのはちょっとわかりにくくなってますので、ちょっと先ほどの 10 ページの説明同等または保守的でない場合はの設備ってのは、おそらく参考が変わった先行サイトもこのような程度の記載だったので、おそらくこの程度になってるのかな。
1:24:27	そう思うんですけども、そこを甘くですね潜航債等のレベルにとらわれないでですね、結果との対応及び検討の流れとの対応がわかるように説明を加えていただきたいと思うんですけども、いかがでしょうか。
1:24:47	はい。日本原燃の須川でございます。今ほど載って 27 ページのですね。
1:24:59	例えば(2)の基礎スラブの方の経営 3 行目のところですねこれこれは一遍での下もらうケースがあることからということで
1:25:11	29 ページのほうにですね、結論として今映っているというところが期待はしておったんですけども、もう少しこの辺りの記載をですね充実したいと思います。
1:25:24	以上です。
1:25:27	町長のキシノです。はい、お願いします。具体的にはですね、30 ページで影響評価を行うって言う具体的な評価方法の説明がないもんですから、おそらく 28 ページでいくとを組み合わせと時刻歴との接地圧費用を比べて、一部一応下回ってるものの最小値についてその倍率を掛けて、
1:25:47	あるとかですね、分けて評価するとか、
1:25:49	或いは 1 を上回ってもちょっとオッケーですよということかと思しますのでそこら辺の考え方検討の流れをもう少し具体的に説明を超えておいていただければと思っていますよろしいでしょうか。
1:26:07	はい。
1:26:08	はい。日本原燃ソーラーです。はい、承知いたしました。
1:26:13	ほいことをすいませんちょっと 4 ページになっちゃうんですけども、
1:26:17	これは真ん中ほどのパラグラフ、なおで始まる文章で、
1:26:24	ここでセル壁等の扱いについて述べているんですが、このパラグラフの結論、一番下の文章で、
1:26:32	以上のことから耐震壁及びセル壁等についてはということで説明のなかった耐震化でも結論の中に決める引き込まれてるんですけど、耐震壁については、ここで説明されているんでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:52	日本列島はデフの耐震壁につきましても、ほぼ水平方向のですね歪での評価しかやっていないというところで最後まとめて書いてしまったんですけども、ちょっと前半も心の方にちょっと記載が見えてきていなかったのこちらのほう少し追記させていただきたいと思います。
1:27:16	すべての機器のスタートの自明ということで、もう一度盛り込んできたのかもしれないんですが、ここはちょっと前後の文章の繋がりを考慮してですね、丁寧に記載をした説明をお願いしたいと思います。キシノからは以上です。
1:27:31	カミデサガワです。承知いたしました。
1:27:36	ありがとうございます。規制庁側からその他ございますでしょうか。
1:27:45	規制庁川崎です。ちょっと内容に関してではないんですが、2 ページの目次のところに、やっぱこれ先ほども話があった工事回申請において提示ということでCから4が余ってるんですが、
1:28:04	これに関しては、今後さらに例示的にこれ示してあるのか或いはこの三つの建屋なりがSITS鉄塔を代表できるというような、代表性の説明だとかそういったものっていうのはどっか別にあるんでしょうか。
1:28:26	はいか日本原燃の菅原です。こちらの次回以降ですね対象の建屋につきましては、途中のですね、と思えばですけども、70 ページの辺りの
1:28:44	中段辺りですね、こういう観点からこの建屋を選定するところを記載しております。同じく頂部構造の観点につきましても、14 ページのほうでですね、
1:29:00	選定の考え方を記載しております。ただですねこちらの選定につきましては、次回以降にですね改めて精査して提示するというところで考えておりますので、
1:29:17	こちらの枠囲みの部分はですね、制作した上で、3 日の結果としてこのぐらいの建屋が並ぶというふうに考えておりますけれども、そういった位置付けで記載しております。
1:29:30	以上です。
1:29:33	切れちゃうわけですね、今説明で理解しました今回まだ1回は10 ページの14 ページに書いてある選定の考え方を示したということで、2 ページに具体的に上がっているものに関しては例規敵対位置付けというふうに理解しておけばよろしいというふうに理解しましてそれでよろしいですか。
1:29:54	日本原燃菅原です。はい。その理解で結構です。はい、結構上がっちゃうんですが、別途後にどのような話、5 ページから各建屋、それから評価対象部位がこう上がってるんですが、
1:30:09	これに関連してもうこれ第1回の審査の中でどこまでこれ視野を兼ねる必要があるのかといった点なんですけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:22	コード位置付けていうのは、先ほどと同様に現段階で考えてる、まあある意味、例示的なもので、実際工事課申請では、もう少し変わり得るというそういう理解で見なければよろしいですか。
1:30:39	はい、日本原燃の菅原です。はい。当社としましてはこの各建屋のですね、基本的にはこの評価項目になるだろうというところは想定はしてるんですけどもご指摘の通り今回
1:30:55	本件示してございませんので、次回でまた改めてその部分はしっかり示すという意味で、そういったちょっと注記なりをですね、ちょっとついする方向でちょっと検討させていただきたいと思います。以上です。
1:31:11	規制庁ハバサキです位置付けで理解しました今おっしゃったように、やはり文書としても、その位置付けの記載のほうをお願いします。
1:31:20	私からは以上になります。
1:31:23	日本原燃菅原です。承知いたしました。
1:31:28	規制庁の武田です。
1:31:30	私から1点確認なんですけれども、
1:31:34	例えば28ページですね。
1:31:39	2ポツ2ー地盤及び基礎スラブの検討結果で、
1:31:44	この地盤及び基礎スラブについては影響評価ということで地盤物性地盤物性のばらつきを考慮した設置後の検討とかってされているかと思うんですけども、その一方で、上部構造ですね。
1:32:01	36ページに結果があるかと思うんですけども、上部構造については、地盤物性のばらつきを考慮した結果とかあのないんですけども、上部構造と地盤等基礎スラブでの考慮、
1:32:17	ばらつきの影響検討を考慮するしないっていうのはどういう理由があるのでしょうか。
1:32:25	日本原燃の菅原です。基本としまして両方ともばらつき考慮したものに対しての影響検討しておりますので、ほぼための方に記載をですね、少し追加したいと思います。
1:32:42	以上です。
1:32:44	以上だけです。わかりました。では、上部工さんのほうもそこを追記いただくというのとフロンについても、では、ちょっと見直しが入るという理解でよろしいですか。
1:33:03	検討フローが16ページですよ。
1:33:07	になると思うんですけど。
1:33:10	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:11	すいません日本原燃菅原です。16 ページのフローにつきましては、こちらのほうで記載、この注釈の三番目のところで、ばらつきを考慮しているということで、こちらのほうは期待しておりましたので、
1:33:31	こちらのほうは特段追加ということではないと考えております規制庁タケダですとフロー流布は見落としておりますという結果のほうでバラつきも考慮した結果であるということは追記だけお願いいたします。
1:33:47	はい、日本原電の菅原です。はい、承知いたしました。
1:33:53	私からの確認は以上になります。その他規制庁側からコメントございますでしょうか。
1:34:01	はい。
1:34:03	よろしければ次の資料の(2)に進めたいと思います。
1:34:09	次の資料は耐震建物の 18 ですね。
1:34:13	こちら日本原燃から補足で説明する内容がありましたらお願いいたします。
1:34:19	はい、日本原燃トガシございます。こちらのほうの資料といたしましても構成のほう、全般的に見直したといったところで全面改定の方をしていただいておりますけども、基本的に前回のコメント事項を踏まえたところでの内容を見直しているといったところがございますので、よろしくをお願いします。
1:34:39	規制庁タケダです。ありがとうございます。では規制庁側から耐震建物の 18 について確認事項があればお願いいたします。
1:34:56	もし、
1:34:59	はい。
1:35:02	よろしいでしょうかね。
1:35:05	はい。耐震建物の 18 については特にコメントが規制庁側からはございませんので、これについての確認は以上にしたいと思います。
1:35:19	リファアですね最後ですかね、耐震建物 07、こちらの確認のほう進みたいと思います。
1:35:26	私だけの 07 につきまして補足の説明がございましたらお願いいたします。
1:35:34	はい、業務の投資でございます。こちらのほうに方向のほうの会計の内容となつてございますけども、前回いただいております内容としまして壊死名称解析等での確認といったところがございましたので日とぴあの締め小解析のほうをこちら今回追加させていただいているといったところと、
1:35:51	あとは大空間部分の影響確認といたしましてPA建屋の部分で、クレーンの壁等がございましたのでそちらに対しての考察といったところで訓練室の壁に対しての検討といったところを追加したといったところが大きな変更内容になってございます。4 目からは以上でございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:08	はい。
1:36:10	規制庁の武田です。それでは規制庁側から確認事項ございましたらお願いいたします。
1:36:18	規制庁込みですね、ちょっと法案で何点か。
1:36:23	確認したいんですけど、
1:36:26	ここは4ページの真ん中にガイドの記載があつてですね。
1:36:33	ここに二つのことが書いてあつて、上段は簡易的に行う際には、非安全側の評価にならない組み合わせをしてくださいねと。下のなお書きについては、応答の同時性を考慮する必要がある場合はこうこうですと、
1:36:51	書いてあるんですけど、今回日本原燃の耐震設計にあたっては、どちらの方策を採用しているのかというのをまず説明してください。
1:37:06	日本原燃のイノウエですね計算書に書いて評価につきまして上の内容になっております。以上になります。
1:37:14	規制庁カミデです。
1:37:16	そうすると、このなお書き部分に書いてある応答の同時性を考慮する必要がないということを確認しているということですかね。
1:37:29	応答の同時性を考慮する必要がないということについてスクリーニングを通じて、評価をしております。以上になります。
1:37:38	規制庁日本原燃の上野です。
1:37:40	はい。規制庁カミデです。それがこの資料の位置付けになるかと思うんですけど、その認識で合ってますかね。
1:38:15	日本原燃だけでも工事回位において基本的には上のほうで評価を行って行うということなんですけれども、
1:38:28	例えば今回走向でつけさせていただいたPA建屋の三次元的な三次元モデルのあれなんかに関しては、下のほうになってまして、あれの立ち位置としては、基本的には上のフロアガイド上なんですけれども、
1:38:48	確認の下の、そういうところはないという確認の意味を込めてのいう検討になってまして、工事が我々工事含めて全体を通しての評価としては、上の聴診でやっているということになります。以上になります。
1:39:07	規制庁カミデです。例えば80ページなんかの算定結果の締めめの文章とかがおそらくこれに繋がっているんだろうと思うんです。この辺をきちんと書いていただきたくて、結論が耐震性の影響はない。
1:39:27	で書いてあるんですけど、ちょっとこれだけではやはり不足で耐震性の影響がないことから、応答の同時性を考慮することがないということが確認できたってということになるんですよね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:44	日本原燃の井上さんのおっしゃる通りかと思しますのでちょっと記載、こういった検討に対して、
1:39:54	いろんところで今回申請の影響はないという表現使ってしまったんですけども、想定でちょっと記載の方を再考させていただきます。
1:40:02	基本的には先ほどカミデさんおばおっしゃっていただいたような同日影響ないことから、どういう性については考える必要ないという形のほうにさせていただきたいと考えております。以上になります。
1:40:18	規制庁カミデです。私が聞いたようなことが資料4でわかるようにですね、まず4ページのところで、基本的な設計っていうのはどういうことやっているんだとこの資料の位置付けっていうのはこういうものなんですということを整理した上で、
1:40:38	それぞれの検討しているところもですね、最初の
1:40:43	確認すべきガイドの記載とか等々ちゃんと繋がりがとれてこのことを確認しているんだというのがわかるように、ちょっとこの資料だけというわけではないですけど全体的に意識をしていただければと思いますので、よろしく願います。
1:41:01	日本原燃のイノウエです承知しました目的等、それに対する最終的な結果について明確に記載させていただきたいと思えます。以上になります。
1:41:13	はい。
1:41:14	規制庁カミデです。私からもう1点で
1:41:19	83ページみたいなどころに書いてあったんですけど機器配管系については、次回で説明しますということを言われてるんですが、なぜ工事書いていいのかわ、1回、第1回で説明しなくていい理由っていうのを説明してください。
1:41:42	日本原燃の児嶋でございます。域配管系につきましては、高高次回申請対象設備になりますので、次回という整理にさせていただきます。
1:41:54	そのあたりのちょっと記載がわかるような
1:41:56	伊藤わかるような記載にしたいと思えますので、規制庁カミデです。金があるのは審査の手戻りにならないかどうかなんなんですが、機器配管系の結果によって、
1:42:15	先ほど言った4ページで言うと、簡易に来組み合わせを込まれるということが覆すされないのかということについて、なぜそれでいいのかわかっていうことをちょっと説明してください。
1:42:48	日本原燃の瀧野です少々お待ちください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:23	日本原燃の布田でございます。今いただいた御指摘についてまたちょっと関係者が席外しておりますので、ちょっと別途回答させていただき形とさせていただきたいのですが、よろしいでしょうか。
1:43:35	関係者気系の
1:43:38	担当になるんですけども、ちょっと今建物だけの
1:43:42	ご覧になってしまったので今席外しております、
1:43:45	おかげですね。わかりました。
1:43:49	残りの時間でもいいですし、資料にきちんと書いていただくという形でも構いませんので、基本的にはこの評価の位置付けだったり、その影響評価の結果を持ってこうだったらええという設計に設計にどう
1:44:09	前するんだみたいな考え方がちょっと一連で書いていないので、そういう疑問が湧いているんだと思っていますので、その点含めてきちんと整理した上で、なぜ機器の影響評価いかにかわらず、この組み合わせでいいのかということとはきちんと
1:44:28	理論立てて説明できるようにしてください。お願いします。
1:44:45	日本原燃の布田でございます。承知いたしました。先ほど、
1:44:54	場所もあってください。
1:44:59	うん。
1:45:45	日本原燃吉原でございますが、配管系への影響というところなんです、
1:45:51	今回ですね、水平2方向は地震力がどうぞ埋まった場合に機器の形状ごとに機能性能への影響受けるかどうかというところの考え方は、今回の
1:46:04	補足説明資料の中でお示しすることになっております。その中で影響が他設備に対してはその影響を確認した結果というものをどこで示し方というのもあわせて御説明することになっております。
1:46:16	以上となります。
1:46:20	規制庁カミデです。
1:46:23	今私がさっき言っていたのは、この資料の考え方としてですね。
1:46:32	まず水平建物構築物系の水平2方向と鉛直の組み合わせは簡易的に行われるっていうのは設計方針があって、それが基本のケースで計算書を添付していると計算書で示しているものです。
1:46:47	それ、なぜそれでいいかというと、3次元応答特性により、応答の同時性を考慮することがないかっこないことを確認したからだという説明でしたので、それに対して機器建物構築物については、この資料でその説明が

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:06	あって、ただ機器に関しては、次回で説明するって書いてあるので、なぜそれでいいんですかという話を聞いているのもう一度、なぜ数でいいのかっていうところを説明いただけますか。
1:47:21	はい。
1:47:24	少々お待ちください。
1:47:31	はい。
1:47:48	はい。
1:48:29	日本原燃の布田でございます。大変申し訳ございません。こちらのなお書きの記載について基金も含めた全体の考え方についてちょっと確認させていただいて、別途温めて御回答させていただいてもよろしいでしょうか。
1:48:43	規制庁カミデです。きちんと整理して資料に反映して説明してください。
1:48:50	承知いたしました。
1:48:53	私の方からとりあえず以上です。
1:48:58	その他、規制庁側から確認事項あればお願いいたします。
1:49:06	はい。
1:49:08	規制庁ハバサキです。
1:49:10	私の方から何点か。
1:49:14	大きな話とあと記載の細かな話を確認したいと思います。
1:49:19	まず資料 81 ページから 30、81 ページから 30 円オフAMの検討の資料が参考資料に載ってますので、これ前回もありましたけども、先行炉では、この次の 2 方向と鉛直の組み合わせをの影響評価を行う上で三次元FEMモデル。
1:49:39	を使ってこちらでも行ってますような応答補正等で消費率を出す上で、安全上モデルを使う、そのモデルの検証を行ってますんで、今回PA建屋に関してはまだ建設中で、
1:49:58	観測記録がないということで、今回新たに 111 ページからAB建屋を分離建屋を対象としたFEMとの件で比較を追加という形で資料の方。
1:50:16	直してもらいました。で、まずこの参考資料の中で、今の位置付け要はへと 111 ページからは実際立ててあって分離だけのFEM解析で検証しますということなんですが、
1:50:33	先ほど言ったMOX結構PA建屋と分離建屋の解析手法の比較だとかですね、要はっこ分離建屋三次元FEMモデルの解析モデルだとか解析条件というのが、説明がされてないません。
1:50:48	で、その上でPA建屋と縁建屋が同じなのか、或いはこういう工程が違うのか、そういった比較表がこの資料の中では、位置付けとして必要なというふうに考えます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:04	まずその点いかがでしょうか。
1:51:18	日本原燃のイノウエです解析完遂
1:51:22	モデルのこの観測記録エリアの分離建屋についての
1:51:28	解析の諸条件につきましては、ここに 111 ページの上から一、二、
1:51:40	3 パラグラフ目に記載して上手く被災して記載しておりますPA建屋との比較表については別途記載する必要があるかとは思いますが、一応
1:51:58	御印象といいますか、そういった形では記載させていただいております、とモデル
1:52:06	あと解析手法という点では 4 パラグラフ目に基本的には周波数応答解析であまあ伝達関数ベースでの評価というところで、
1:52:21	書かせていただいてまして、PMをこの三次元のところ、
1:52:27	これについてもそう周波数でやるやつしか書いていたかと思うんで、そちらとの応募なんですかね、一目でわかるような解析条件等の比較表のといったところを追記させていただきたいと考えております。
1:52:45	以上になります。
1:52:47	手帳ハラダ技術今理解いただいたと思います。
1:52:51	従来の資料ですと、PA建屋の説明があって、この観測記録との比較という形なんなるんですが、今回、
1:53:01	この第 1 回申請ではそれが間に合わないといいますかないので、あえてAB建屋を持ってくるというところで、解析手法はこういう条件で一緒ですということも説明をしてください。
1:53:12	それで、結果のほうなんですけれども、最終的に 128 ページのほうにスペクトルの比較ということで、観測とSRとFEM三つ 100 がされてます。
1:53:30	このスペクトルの比較をもって 127 ページのほうに、そう結論といいますか。コサクが述べられてますんで 127 ページの下から 3 行目には、概ね再現できるということで、時FMモデルは妥当であるという結論になってます。
1:53:49	ところが、128 ページのステップでこれを見てこう結論がどうしても対応できないんですけども、その点はどういうふうに考えればよろしいのでしょうか。
1:54:07	はい。
1:54:08	日本原燃の井上です。ただいまの御指摘についてですけれども 128 ページの方で 3 三種のモデルといいますか、和弘と。
1:54:23	FDM投資典型で比較させていただいてるんですけども、NUS等UDIに関しては概ねそういうことが家の方でEWIについて

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:40	ちょっと兼ねてはいるんですけども、その離れている周期体については概ねとらえられてビルとっておりますので、またちょっとこうこの資料には記載する方が間に合わなかったんですけども、
1:55:00	これの影響について周波数応答解析でやっておりますので、
1:55:10	ちょっと伝達突風関数ベースで比較のほうを行ったんですけども、この
1:55:17	0.3秒付近で伝達関数ベースで見ると、あまり
1:55:26	差異はないんですけども、
1:55:31	つってndモデルのほうで伝達関数自体がすごい低い値になってしまっていて、もうちょっとさでもすごい大きく出してしまうペールっていうのが、
1:55:46	現状ですので、伝達関数ベースで見れば、
1:55:52	経常見ればそこまでのここまでの差異がないっていうことをちょっと今確認はしております。以上になります。
1:56:02	規制庁川崎です。これ観測記録等の新現象ですので、前項の労働もう資料見での確かに観測教育と解析値がぴったり合うなんてことはないっていうのは十分理解の上なんですけど、まず問題などは、これ順序女性の方。
1:56:20	を比較してるんで特になんですけども、観測記録を3倍の審4倍近いような応答がある主体では出ていないで例えばここに該当する機器あったらどんなみみたいな話になりますし、そこら辺の原因と対策っていうことを
1:56:37	もう少し必要だというふうに高圧から思います。それともう1点、この図から問題と考えるのは、SRと比較されているんです。
1:56:47	通常的设计応答の解析モデルとしてのF3をいずれも、NSも含めてですけども、上回ってます。
1:56:56	これでは、SRの解析では、
1:57:00	大変評価できないという結果に、この図からでは増えてしまいます。ですので、この資料の位置付けまず三次元のモデルでほぼ妥当な応答性状応答結果が得られるということを
1:57:16	この中で示してもらおうで。
1:57:19	それ以降、3と比較する必要があるのかないのかも考えてもらいたいんですけども、SERPと同等ないしはSRVのほうが保守的な結果というのが本来あるべき姿と思います。それが高かったらそれはやはりどちらかに問題があるわけですので、そこら辺の考察を含めてしっかりこれやっていただかないと。
1:57:38	このままこれ読んでたら本当に
1:57:44	資料として、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:47	目的としているものは全く活性だ、なぜできないというふうに考えますので、もう少しここ再考してもらいたいと最初条件の比較の話と結果の考察等です、もう少し
1:58:03	ここです、しっかりとやって参りたいというふうに考えます。それは可能でしょうか。
1:58:11	日本ゲームイノウエで承知いたしました。結果に対する負荷合意といえますかそちらの方、
1:58:20	明記させていただきたいと思っております。以上になります。
1:58:25	規制庁川崎です。統合シミュレーションに関しては以上です。それから2番目、30年度までのPaとびあのモデルを使って支援要綱と鉛直のその音比率も考慮した。
1:58:41	耐震強化ということでこの資料の中に掲載されてます。そこで64ページ。
1:58:47	資料のほうを見ていただきますと、3方向入力の応答評価をSDCはで実施しますということに記載されてます。
1:58:58	これはもう相当結果質点系の応答結果を見れば確かにこの部分ですし、SD彼岸まああのちゃんとなっていることは一目瞭然ですので、基本的には問題ないと思うんですが。ただし典型の飛びますと、鉛直方向の応答に関しては、
1:59:17	ですので、場、
1:59:19	チャンピオンになっている。
1:59:22	全挿にわたって言わないんですけども、ちゃんとなっているところが多い。
1:59:29	ということで、
1:59:30	こういう場合にですね、本当にこれ今回SDCワンだけなんですけど、別でに関して、要は応答をシェアするような地震動としてSDについても同じように検討する必要がないのかどうか。
1:59:46	潜航金を見ますと、当時までは基本的には支配的なやつでやってんついでとすべてナカガワでやってますけれども、
1:59:55	どっか障害に関してはですねわんとSD通達てます。それはやはり二つの地震動が支配的な音をんなるかということで、その二つを返してというふうに考えてます。
2:00:07	ですので、それを踏まえると、今回MOXで、エステー資本だけでも問題ないと考える。
2:00:14	硫
2:00:16	とか、或いはその根拠っていうのは別途説明できますでしょうか。
2:00:22	日本原燃ウラバヤシでございます。ちょっと文系、あと、ちょっと確認なんでございますが、鉛直SAのを御鉛直が大きい＝支配的という

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:33	直接的な繋がり。
2:00:36	何でしょうか。やっぱりとか、土地が大きければそれが支配的ということになるんでしょうか。
2:00:44	規制庁ハバサキのやつ、例えば等でPaだけ鉛直方向の応答値の比較っていうのを見ていただいていると思いますけれども、職員上層組み替え必要は鉛直応答はSで決まっていますんで、例えば、
2:01:01	この大空間を出したの構造、要は鉛直応答がCIえっと鉛直動が支配的になるような応答がある部位があれば、或いはそういった機器配管があれば、それはやはり少しでも大きな影響与えるせえ評価すべきでしょうし、
2:01:21	いやそういうこういう冒頭言わないということにしたそれが一つのSBAをやる必要はないという理由になりますし、そこら辺の説明がないだけで、今、結局の
2:01:36	だっけになってですねえについては何らかの言及が必要ではないかというのが私の趣旨です。
2:01:43	いかがでしょうか。
2:01:45	日本原燃の布田でございます。今回このSDCワンを選んだ理由としまして、今回この検討はですね耐スパンの壁ということで抜粋辺方向の地震による面外方向の波は
2:02:00	増幅は懸念される部位として抽出しておりますので、そういう観点で水平方向の地震力の中でちゃんとなるSDC版をが支配的ということで選定しております、この鉛直方向のSPMにつきましてはこの当該部分については支配的ではないと。
2:02:18	いうふうな判断をしておりますが、そういったな記載がないんでそのあたりの記載の充実すればよろしいということで、
2:02:25	いいでしょうか。
2:02:27	規制庁ハバサキです。今これPA建屋に限って言えば上部のほうかなり反応度飛んだ負担がありますね。
2:02:36	我々、例えば屋根スラブ等に関しては、ここ入力の場合の検討っていうのは、SAに鉛直応答の一番タケダになるんです。で実施する必要はないと。
2:02:51	いうことが言えればいいんですけれども、そこら辺は押さえて、いやこれでしょうか。
2:02:59	日本原燃の藤尾でございます。少し確認させていただきたいんですけども、この別紙1の
2:03:05	評価において場の本文のところの抽出で大スパンの壁として抽出してその壁についての評価をこの別紙1で説明しておりますので。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:17	ちょっとこの資料の中でその床の話っていうのは違うかなというふうに考えているんですけども、いかがでしょうか。
2:03:25	規制庁ハバサキです。資料Pで言えば、確かにおっしゃる通りですが、今三次元の解析をして応答比率を出して、補正係数を出してという方法がありますけれども、
2:03:40	統合的にはもう壁で地下壁の1回評価してないということで、そういう理解でよろしいですか要は水平部材に関しては、評価は対象外ですという、そういう理解になるわけですか。
2:03:54	恩恵にウラバヤシでございます。
2:03:57	大スパンでトンネルの水平部材について、当然組み合わせと鉛直の影響が大きいの場合については考慮する必要があるかと考えます。で、この資料についてはあくまでとかの話に限定した内容でございますので、それも
2:04:13	僕1度というかクレーン砂のスパンが飛んだ壁のお話ですので、ここの記載をもってすべてで対応っていうのはちょっと難しゅうございますが、当然遅部下がとんだものに関しては、
2:04:26	必要であれば、当然鉛直の影響というのをしっかり見ていく必要があると考えております。
2:04:35	減っちゃうわけですこの資料を位置付け等内容に関しては理解しました。おって、伝搬のオオオカスクラップに関しての結果を今後予定されているということではよろしいですか。
2:04:55	日本でウラバヤシがございまして。今のところへと題する降下物高次化いうも含めて大スパン部っていうのがちょっとやっぱ壁お待ちください。
2:05:07	はい。
2:05:13	もう直接、
2:05:17	ということであってさまで余別、
2:05:23	すみません。
2:05:27	こちらが逆に水平的に広がってるものについてはその中で、その影響評価するときにやるというのは事実でございます。
2:05:37	そういうのが出てきましたらやりますという事実が今この燃料加工建屋については等々そういう部位はないという認識でございます。
2:05:52	規制庁川崎です。まず疲労での適用範囲という形では理解しました上で、その鉛直応答が支配的となるような時の評価を考慮すべき地震動も含めてですね。
2:06:10	そしたら、今後どう判断されるのかですなちょっと検討してもらいたいと思えますが、こちらの方として、もう本当に必要なのどうかも含めて確認したいと思

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	いますのですねそれについてはこちらとして課題意識を持ってということで伝えたいということで、
2:06:31	今回は理解しました。
2:06:33	よろしいんでしょうか。
2:06:36	さらに本件のウラバヤシでございます。今後の申請につきましては別紙という形で追加されていくこととなると思いますので、その特徴に応じて検討を進めさせていただきたいと思います。
2:06:50	規制庁の阿部です。
2:06:53	大きな話としては一応見てんです。あと記載だけの話で何点か確認といいますが、コメントがあるんですが、まず資料の 52 ページから時には出てますんで、この図面にあの通りCを入れることは可能でしょうか。
2:07:13	おっしゃる通り新というか軸ですね。
2:07:16	何とっていう。
2:07:21	日本原燃言われた
2:07:26	ちょっと待てとできる限り善処しました。
2:07:31	計算承認を記載していた図面と確か同じものを掲載していたかと思うんですけどちょっとそちらとも確認してみますが可能であれば取引上明記させていただきたいと思います。以上になります。
2:07:47	規制庁防爆認定する
2:07:50	これを基本とし、申請書といった警察見てもですね確かに土地になる層厚ネットで金庫内前回あの沼ますただあのやはり後ろの方との比較をする上で、その分 1 とか半前ますと、可能な範囲で、
2:08:09	なってしまうと思うんですけども、耐震の評価というものを兆別途してください。
2:08:16	続いてなんですけれども、別を 65 ページ。そうです。
2:08:21	モデル数はキシノていませんで、対象となるおそのの程度と。
2:08:29	よろしいですかねちょっとですね会議室の時間が迫ってきておりますので簡単なのはちょっと個別に御確認いただくということでもよろしいですかね。規制庁ハバサキです。了解しました沖縄市は先ほど、
2:08:48	こちらから伝えましたのでちょっと長い
2:08:54	はい。了解しました。ハバサキからいろんなにしますはいすいません。ありがとうございます。規制庁コサクですけど、すみません、先ほどの長計の話なんですけど、29 ページの床上及び屋根という記載いたと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:13	スクリーニングでもうサトウとして装荷する気がないという形になっているんですけど、先ほどの回答だと必要な場合は別紙でって言われたんですか、ちょっと対応が違う感じがするんで。
2:09:28	この辺りの妥当性をちゃんと説明するっていうことじゃないかなと思ったんですけどいかがでしょうか。
2:09:59	原燃聞こえてますか。
2:10:03	4名の少々お待ちいただけますでしょうか。すみません。
2:10:16	はい。
2:10:22	日本のウラバヤシでございます。先ほどの質問にもお答えした通り、現状はないと考えておるんですが、そのH追い風できましたら議論させていただきたいと考えております。
2:10:36	規制庁コサクですけど、ですから、ここで該当しないと明言しちゃってるから、必要がありましたらっていうのを、
2:10:44	用地がないんですよ。余地がないので認めちゃう形に審査をするわけにいかないんで、どう考えてますかっていうことなんですよ。
2:10:57	こちらの立場はわかっていますか。
2:11:06	わかりましたこちらの方
2:11:13	あててしっかり定めたいと思います。
2:11:16	基本的には当初 29 ページでお示したことを展開する方向で後ろのほうの壁の評価なんで、壁が壁というふうに展開させていただきます。
2:11:29	規制庁コサクですけど、壁は壁ばそれはそれでいいですけど、床なり、時上下の荷重が影響を与えそうなところっていうのをどう考えるのかっていうのをもし対象にしてなくていいとするのであれば、ちゃんと説明いただければいいと思いますし、
2:11:46	こうスクリーニングをかけてそういうのに該当するものがありましたらますということであればその考え方を明確にさせていただければいいと。
2:11:55	ということなので、争点整理をしていただければと思います。よろしく願います。
2:12:11	ありがとうございます。その他、規制庁側からこの資料の大きなところ、上の面でウラバヤシでございます。すみません今も質問に対しまして、当位置を上下の鉛直のほうの話につきましても、本資料でちょっと触れてはございます。具体的には、
2:12:30	具体的には当初 47 ページのところとかで触れてはございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:12:44	規制庁ハバサキです。これ考え方なんで、今こちらとしては課題意識を持っているので、スクリーニングアウトできる根拠、エビデンスを持って説明いただければ結構です。
2:12:57	いかがでしょうか。
2:13:06	日本海へイノウエ承知いたしました。その辺りのちよっと考え方の方整理させていただきたいと思います。以上になります。
2:13:26	その他、この資料から確認事項はございますでしょうか。
2:13:34	細かい内容とかにつきましてはまたこの資料の乗り場所が提出されたタイミングで確認していただいてもよろしいかと思います。
2:13:43	それではですねえと本日の確認資料については以上になります。
2:13:50	規制庁側から全体を通しまして何か確認事項ございますでしょうか。
2:14:04	規程とツガネです。基本方針とかについては、なんかどうか。
2:14:10	まだ私できるだけは炉の記録を見ます。
2:14:14	主体は書いてあってただ出てこないような確認だったんですけども、一番コサクが一番。
2:14:25	人間のフジノですとですね全体的なスケジュール記載ぶりも含めて調整しておりますので、あとちよっと精査させていただいて共通対応してるメンバーと精査して回答させてスケジュールで回答させていただきたいと思いますがよろしいですか。
2:14:44	規制庁、川ですうまく進めてスケジュール棒 6 月までの間もなくとも常にこの部会で 7 月以降というふうにしてすべて格納聞かないといけない、このトガシ型の眺望数に加えて、600shotまだしっかり見られる見ることができない状態なので、
2:15:01	個人基本沖からところからですね、やっぱり申し上げた通り、うちが 500 以下だとか、できることを言うてしまういたしますので、少し
2:15:14	でも、
2:15:15	時間的なな例えば認識していただきたいんですが、スケジュールありきではなくて、泊をしっかりと資料を作って出していただきたいというのはこちらの値なんですけども、が中間
2:15:28	次のページですか。はい、しっかりと資料を提出できるように対応したいと思います。
2:15:34	私もこの了解いたしました。
2:15:37	規制庁お疲れ様行為ではちよっと心配されてくるんで、申請書の内容を運転して、コメントするというのもいいんですけども、これまでは左も含めてちよ

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	つとなかなかこの審査内容があまりよろしくないところがあって、富士通がもうそのまま見てそれ指摘してもあまり意味がないと思ってますので、
2:15:56	その点も含めてしっかりした資料を作っていただきたいと思いますがいかがでしょうか。
2:16:01	私の
2:16:02	日本原燃の藤井です。はい。
2:16:04	そういたします。
2:16:08	私から以上です。
2:16:13	はい、ありがとうございました。その他何かございますでしょうか。
2:16:19	ここにするとということなのですね。はいどうぞ。
2:16:25	はい。
2:16:26	ハバサキです。すいませんー辺だけ。すいません先ほど最後水源要綱と一極の組み合わせのところの話で申し訳ないんですけども、
2:16:39	資料の後ろのほうに七島応答スペクトルを
2:16:44	の比較が出てますんで、そこで平均の平均した応答スペクトルが出てますけれども、法令ねっていうのは、先方では平均化っていうのはしないというふうに出してまして。
2:16:59	こういう平均化をしてもよい林業或いは
2:17:07	特に常務何かすべての点の平均化を行っている。これでちょっと問題があるという認識を持っていますんで、ちょっとここら辺の扱いに関して次回までに本当に今後あったらいいのかどうかということを検討してもらいたっていうのを伝えなかったんですが、
2:17:25	いかがでしょうか。
2:17:28	温度感があって、
2:17:32	日本原燃浦邊でございます。東亜確認しまして御回答させていただきます。
2:17:39	ちょっと沢床ハバサキとお尋ねしたいんですけど、私どもの計算書また全然核に進んでいないという認識なんですけどちょっと不安になったもので、建屋対象まだまだ全く確認が進んでいないという御認識なんでしょうか。
2:17:56	規制庁のほうです。すいません、今のプラダさんの問いかけの趣旨がわからないんですが、
2:18:02	具体、先ほど基本全体の更新の中でちょっと個別の計算書の確認も全くできていないというふうな
2:18:11	趣旨の御発言がありましたのでちょっと暴力でいろいろ
2:18:16	ですから確認させていただいた中でちょっと不安に思ってる次第でございます。規制庁ハバサキです。先ほど車田が申したのは、一方、必要な論点に対

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	してのヒアリングっていうのは或いは最後までやってるんですけども、例えば耐震計算書については、明らかにしよう決算書については、
2:18:35	昨年 12 月末で点ライン創造っていうのは更新されてないわけですので、そういったヒアリングの主要な論点とともに、こういった部品計算書なり地震応答計算書個別の
2:18:51	資料に関しても一緒に栄光ヒアリング等を進めるべきだということで、去年の団体の計算書自体はこちらとしては見てまして、こういうヒアリング的でも参考にはしてますけども、それ以降、全く改訂がされてない。
2:19:08	とは思えないんで、その点をこちらから御質問です。
2:19:14	出戸理解いただけましたか。
2:19:17	規制庁コサクですけど。
2:19:19	ちょっと補足すると、そもそも申請書がちゃんとできてなかったっていうところを、ヒアリングでどうフォローしてくだっという時に職員に細々と補足説明資料作るのもいいんだけど。
2:19:36	一つ一つちゃんと生成書としてどうあるべきかって言うもので押さえてこういうふうに対応しますというのを明確にしてくださいとお話してたんですけど、一向にそういう資料が出てきてないので、補正がどうなるのか、補正を踏まえた審査の
2:19:52	最終形態がどうなるのかっていうのも何もイメージできずに現状いるので、非常に困っています。
2:20:00	その点を全店そちらが認識いただいてないような感じがするんですけど。
2:20:05	どうなってるんですか。
2:20:18	人間のフジノです。今コサクさんおっしゃった対応なんですけれども、各事業部中心に協定で 6 棟の 07 からの流れで基本方針から、そこまでどういう形になるのかというところを今精査してございますので、そういう申請書ですね 12 月 24 日どう変わるのかというところも見据えて、
2:20:38	今対応を進めておりますのでそういうでき上がり次第説明に入りたいなと思っております。
2:20:45	規制庁加来です。そういうことだと思います。なので、やっぱりそういう作業をどう進めていくのか、もうそのタイミングでどのレベルの確認ができるのかっていうのを明確にしてくださいっていうのが先ほどの話だと思います。以上です。
2:21:21	もしもしじゃない。
2:21:27	規制庁タケダです。ちょっと日本原燃それを検討いただいて回答いただいてもよろしいですかとむしろも使っておりますので、
2:21:40	4 名すみませんもう一度よろしいですかちょっと聞き取れませんでした。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:21:44	ちょっともう後ろも使えてきておりますので今回回答できないようでしたら、持って御回答いただいてもよろしいですか。
2:21:53	規制庁コサクですけど、今私の発言に対して回答がなかったので、原燃いいですかって聞かされただけなのかどうかをお願いしておりませんのでよろしくお願ひします。はい、これで終わりでもいいですか。
2:22:08	日本原燃からわかっとうからはい特にございませんので、すみませんでした。
2:22:14	はい。それが本日のヒアリングは移動させていただきます。ちょっと会議室の件で不手際がありまして申し訳ございませんでした。
2:22:21	それは終了とさせていただきます。お疲れ様です。
2:22:25	ありがとうございました。
2:22:27	お疲れ様です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。